

科目名 (科目番号)		基礎看護論 (時間割参照)	教員名	看護学科教員	学科等	医療技術	必修	履修年次	4
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	講義	オフィスアワー	看護学科	
授業概要		看護や介護とは何かを学び、看護・介護を通じて家族との係りや援助を理解し、医療・看護・保健・福祉それぞれの専門職の役割や連携について学ぶ。特に臨床工学技士が他の医療職との関係においてチーム医療を担う一員であることの認識を深める。また基礎技術としての体位変換や車椅子・ストレッチャーの扱い方などを学ぶ。さらに在宅看護・術後看護・透析看護の基礎を学ぶ中で患者の思い・立場を実感し、注意点をふまえた各種の援助の在り方について学ぶ。							
目的・目標		目的:看護師の役割を学ぶとともに、主に臨床工学士との連携について理解を深めることを目的とする。 目標:様々な場における看護師と臨床工学士の連携について説明できる。安全な患者移送の基本技術を説明できる。チーム医療に必要な要素を説明できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	看護の概念 医療現場の概要		看護とはなにか、看護師の仕事と実際の看護内容を理解する。医療や介護の現場における事故や苦情等について理解する。					
	2	保健・医療・福祉の組織とそれぞれの専門職と役割		保健・医療・福祉における専門職の役割やチーム医療について理解する。					
	3	在宅看護とその対象者の概要		地域における公的サービスのしくみと看護職等の業務について理解する。在宅看護における利用者サービスの実態から、家族の思いや立場、注意点について理解する。					
	4	看護の実際と対象の理解 (手術療法を受ける患者の看護)		手術や検査における看護師の役割と他職種の連携および、患者の思いや立場、注意点について理解する。					
	5	看護の実際と対象の理解 (透析療法を受ける患者の看護)		透析療法における看護師の役割と他職種の連携および、患者の思いや立場、注意点について理解する。					
	6	看護技術の基礎知識		安全・安楽な療養生活のための、看護技術の基礎知識について理解する。					
	7	看護技術の実際		看護技術としての、体位変換や車椅子・ストレッチャーの扱い方の実際を理解する。					
	8	臨床工学技士とチーム医療		チーム医療を推進するために必要な要素について理解を深める。					
成績評価の方法・基準		授業終了後のレポート（100％）で評価する。（オンライン時・対面時共通）							
教科書		特に定めない。必要時資料を配布する。							
参考図書		必要時紹介する。							
教員からのメッセージ		課題レポートはコメントを付して返却します。 病院や自治体で勤務した経験がある教員がこの授業を担当します。 オンライン授業によりシラバスに変更がある場合は、変更後のシラバスをオンラインクラスで周知します。							